

第2部 各学部での履修及び取得できる各種資格

I 体育学部での履修

II 体育学部で取得できる各種資格

- 1 教育職員免許状
- 2 (公財) 日本スポーツ協会 公認スポーツ指導者資格
- 3 衛生管理者免許
- 4 健康運動指導士
- 5 (公財) 日本レクリエーション協会 レクリエーション指導者資格
- 6 (公社) 日本キャンプ協会 キャンプインストラクター資格
- 7 (公財) 日本障がい者スポーツ協会 障がい者スポーツ指導員資格
- 8 (特活) 日本トレーニング指導者協会 JATIトレーニング指導者資格
- 9 JPSUスポーツトレーナー 資格履修科目確認リスト
- 10 小学校教諭一種免許状

III 2019年度体育学部開講科目一覧

IV 教育学部での履修

V 教育学部で取得できる各種資格

- 1 教育職員免許状
- 2 (公財) 日本レクリエーション協会 レクリエーション指導者資格
- 3 (公財) 日本障がい者スポーツ協会 障がい者スポーツ指導員資格
- 4 小学校教諭一種免許状 (保健体育教育コースのみ)

VI 2019年度教育学部開講科目一覧

I 体育学部での履修

※ 2015年度以前の入学生は、2018年度発行の「平成30年度履修要項・学生ガイドブック」を参照してください。

1 体育学部の目的・教育目標

体育学部の教育目標は次のとおりです。

体育、スポーツ・健康に関する科学的な理論を理解し、実技能力や実技指導能力、スポーツ組織のマネジメント能力を有する実践的な人材を養成することを教育目標として、以下のとおり定める。

- (1) 豊かな教養を修める。
- (2) 専門的な知識・技能を修得する。
- (3) 調和のとれた人格を形成する。
- (4) 社会に貢献できる力を身につける。
- (5) 能動的・自立的行動力を身につける。

2 カリキュラムの構成

体育学部の授業科目は次の科目区分で構成し、基礎から専門を4年間で学びます。授業科目の受講は学年やコースごとの指定もありますので履修登録に際しては注意してください。

【科目区分】

- (1) 教養科目（学部共通 基礎教育科目と一般教育科目で構成）
- (2) 専門基礎科目（学部共通）
- (3) 発展科目（学科共通）
- (4) 応用科目（コース別）
- (5) 関連科目、資格関連科目（学科共通）
- (6) キャリア教育科目、教職に関する専門科目、自由科目（学部共通）

体育学部の授業の組み立て

基礎

専門

応用科目	コース共通 3年生	関連科目	資格関連科目	キャリア教育科目	教職に関する専門科目	自由科目
講義&実技&実習 &インターンシップ						
発展科目	学科共通 1~4年生	学科共通 1~4年生		学部共通 1~4年生		
講義&実技&演習						
専門基礎科目	学部共通 標準1~4年生					
体育・スポーツの講義&実技						
教養科目	学部共通 標準1~2年生					
一般教育・基礎教育						

3 卒業所要単位

- (1) 卒業には次の2つの条件を充たしていることが必要となります。
- ・本学に4年間在学していること（休学期間は含まれません）
 - ・卒業に必要な単位数を修得していること
- (2) 卒業所要単位数は124単位ですが、科目区分ごとに学科で定められた最低修得単位数を修得していなければなりません。
- (3) カリキュラム表における「教職に関する専門科目」「資格関連科目」「自由科目」は、卒業所要単位数に含みません。

(スポーツ教育学科)

授業科目区分	最低修得単位数	備 考
教養科目※	20単位	基礎教育科目8単位以上 一般教育科目12単位以上
専門基礎科目	42単位	必修39単位 選択必修3単位
発展科目	20単位	必修20単位
応用科目	14単位	
関連科目※	13単位	
キャリア教育科目※	1単位	
※の科目から選択	14単位	
卒業所要単位数合計	124単位	

(健康・スポーツマネジメント学科)

授業科目区分	最低修得単位数	備 考
教養科目※	20単位	基礎教育科目8単位以上 一般教育科目12単位以上
専門基礎科目	42単位	必修39単位 選択必修3単位
発展科目	22単位	必修22単位
応用科目	14単位	
関連科目※	11単位	
キャリア教育科目※	1単位	
※の科目から選択	14単位	
卒業所要単位数合計	124単位	

4 各科目区分の履修

- (1) 基礎教育科目
- ・「日本語技法」「英語ⅠA」「英語ⅠB」「英語演習」は1年次必修であり、クラス分けテストでクラス指定を行います。
 - ・「統計実習Ⅰ」の履修者は「統計実習Ⅱ」も履修しなければなりません。
 - ・「統計基礎」と「統計実習Ⅰ」+「統計実習Ⅱ」はいずれかの選択必修になりますが、この選別はクラス分けテストの結果で行います。
 - ・「英語演習」は授業時間以外に、各クラス毎に自習時間が設けられていますので、初回の授業で確認してください。
- (2) 一般教育科目
- 人文科学、社会科学、自然科学の3分野からそれぞれ2科目4単位以上を選択履修しなければなりません。
- ※教養科目は、基礎教育科目と一般教育科目とで合計20単位以上が必要です。
- (3) 専門基礎科目
- <2018年度以前入学生>
- 専門基礎科目は学部共通科目で、講義科目27単位、実技科目12単位に、男子は「柔道ⅠA」

又は「剣道 I A」、女子の場合は「ダンス I」の2単位が必修です。

※「柔道 I A」「剣道 I A」両方の履修はできません。

<2019年度入学生>

専門基礎科目は学部共通科目で、講義科目27単位、実技科目12単位に、「ダンス I A」「柔道 I A」「剣道 I A」より1単位、「ダンス I B」「柔道 I B」「剣道 I B」より1単位の合計2単位が必修です。(教員免許取得にあたっては「ダンス I A」が必修、「柔道 I A」又は「剣道 I A」が選択必修です。)

※「柔道 I A」「剣道 I A」及び「柔道 I B」「剣道 I B」の両方の履修はできません。

(4) 発展科目

発展科目は各学科共通科目ですが、卒業に必要な単位数が異なりますので注意してください。

ア. スポーツ教育学科

講義科目、演習科目、実技科目合計で20単位が必修です。

実技科目の「ハンドボール I」は男女とも、「ラグビー I」は男子、「ソフトボール」は女子が必修です。

イ. 健康・スポーツマネジメント学科

講義科目、演習科目、実技科目合計で22単位が必修です。

(5) 応用科目

応用科目は3年次に所属するコースに開設されている必修及び選択必修科目の計14単位を修得しなければなりません。

(6) 関連科目

関連科目は、コースの専門的学習をさらに幅広く深める科目、教員免許状に必要な科目など、学部として共通に開講している科目や各学科で開講している選択科目があります。

(履修方法)

ア. スポーツ教育学科

選択必修講義科目を10単位以上、選択必修実技科目は3単位以上、合計13単位以上を修得しなければなりません。

イ. 健康・スポーツマネジメント学科

選択必修講義科目を8単位以上、選択必修実技科目は3単位以上、合計11単位以上を修得しなければなりません。

※選択講義科目の4科目(「教師論」「保健体育科教育法 A」「保健体育科教育法 B」「保健体育科学習指導論」)は、卒業所要単位の124単位には含まれますが、選択必修講義科目のそれぞれ10単位・8単位には含まれませんので注意してください。

(7) キャリア教育科目

キャリア教育科目は学部共通で必修科目(「キャリアデザイン I」)1単位以上を修得しなければなりません。

5 進級等

(1) 2年次から3年次に進級するには、2年次終了時に**30単位以上**を修得していることが必要です。これをクリアしないと進級できませんので注意してください。

(2) 学則第35条第6号「当該年度に履修した授業科目につき15単位以上を修得できない者は、除籍する」の規定の適用については、次のとおり取り扱います。

① 1年次生

- ・1年次終了時に15単位未修得の場合、文書にて「除籍警告」並びに保証人あてに「除籍警告書」を送付します。
- ・学修継続を希望する場合は、面談及び「誓約書」の提出が必要となります。
- ・面談及び「誓約書」提出に応じない場合は、学則の規定に則り除籍手続を進めます。

② 2年次生

- ・1年次生と同様に取扱います。
- ・3年次への進級条件を「2年次終了時に30単位以上を修得している」こととし、進級の可否

判断を行います。

(誓約書が提出されていても、30単位以上修得していなければ3年次への進級はできません。)

③3年次生

1年次生と同様に取扱います。

④4年次生

15単位未修得による除籍規定の適用は、原則として行いません。

6 コース選択

3年次に進級すると各学科に設けているコースごとに専門教育の学修を進めます。コースでの授業は、コースに対応する講義、演習、実技、実習科目を履修し、併せて発展科目の「演習Ⅰ・Ⅱ」を履修します。

コースの選択は、2年次の10月上旬から中旬に各学科において希望調査を行います。

コースにより希望者が偏った場合、2年次前期までの学業成績（GPA）が選考に用いられることがあります。どのコースを選択しても教員免許は取得できますが、その他の資格・免許についてはコースにより異なりますので「Ⅱ 体育学部で取得できる各種資格」ページを参照してください。

2018年度の各コースの定員はつぎの通りでした。コース選択時には、変更が生じる場合がありますが参考にしてください。

スポーツ教育学科		
コーチ教育コース	体育科教育コース	スポーツ心理・カウンセリングコース
173名	92名	63名
健康・スポーツマネジメント学科		
スポーツマネジメントコース	アスレティックトレーニングコース	健康スポーツコース
78名	78名	78名

7 履修登録の方法

時間割表を確認のうえ受講する科目を自分でWEB登録してください。

ただし、次表の科目は教学部教務担当が登録するので、自分で登録する必要はありません。

科目	配当年次	備考
情報処理実習Ⅰ	1年次配当 (必修)	時間割に記載しているクラスで受講すること。
日本語技法	1年次配当 (必修)	初回授業（ガイダンス）で受講クラスを通知します。
統計基礎 統計実習Ⅰ 統計実習Ⅱ	1年次配当 (必修)	初回授業（ガイダンス）で受講クラスを通知します。
英語演習	1年次配当 (必修)	初回授業（ガイダンス）で受講クラスを通知します。 再履修者も同様。
英語ⅠA 英語ⅠB	1年次配当 (必修)	初回授業（ガイダンス）で受講クラスを通知します。 再履修者も同様。
外国語選択科目 (英語Ⅱ、英語Ⅲ、英会話Ⅰ、 英会話Ⅱ、ドイツ語、中国語)	2年次配当	2月に実施する履修希望調査に申込みこと。 ※受講定員制限有
選択必修実技科目 (関連科目)	3・4年次配当	2月に実施する履修希望調査に申込みこと。 ※受講定員制限有

再履修において注意が必要な科目

再履修で注意が必要な科目は以下のとおりです。一覧表に記載している方法で手続きをしてください。

科目	確認事項	登録方法
日本語技法 日本語技法演習（基礎）	「再履修申込」を教学部教務担当へ提出 提出期限 4月6日（土）12時40分 ※初回合同授業にてクラスを確認すること（後期も同様です）	教学部で登録 （自分で登録する必要はありません）
英語 I A	「再履修申込」を教学部教務担当へ提出 ・提出期限 4月6日（土）12時40分 (1)前年度成績が1点表示の場合 ・水曜2時限、3時限、4時限の「英語 I A」のいずれかを履修すること。 ・学習支援室が実施する「基礎学力試験」での合格も必要。 (2)前年度成績が5.9点以下表示（1点及び3点を除く）の場合 ・水曜2時限、3時限、4時限の「英語 I A」のいずれかを履修すること。 (3)前年度成績が3点表示の場合 集中講義「英語 I A（基礎学力）」を履修すること。	教学部で登録 （自分で登録する必要はありません）
英語 I B 英語演習	「再履修申込」を教学部教務担当へ提出 提出期限 4月6日（土）12時40分	教学部で登録 （自分で登録する必要はありません）
統計基礎	時間割表で（再）と表示しているクラスを履修	自分で登録
統計実習 I	時間割表で（再）と表示しているクラスを履修	自分で登録
統計実習 II	時間割表で（再）と表示しているクラスを履修	自分で登録
情報処理実習 I	時間割表で（再）と表示しているクラスを履修 入学年度でクラスが異なるので注意	自分で登録
情報処理実習 II	時間割表で（再）と表示しているクラスを履修 入学年度でクラスが異なるので注意	自分で登録
実技科目 （専門基礎科目、発展科目）	男女別の開講科目には受講クラスに注意すること	自分で登録
体力トレーニング論・ 同実習	再履修クラス（梅林）で履修すること	自分で登録
教育心理学	時間割表で（再）と表示しているクラスを履修 （再）クラスが履修できない場合に限り、通常クラスで受講が可	自分で登録
保健体育科教育法 A	時間割表で（再）と表示しているクラスを履修	自分で登録
保健体育科教育法 B	時間割表で（再）と表示しているクラスを履修	自分で登録
運動学	時間割表で（再）と表示しているクラスを履修	自分で登録
教師論	時間割表で（再）と表示しているクラスを履修	自分で登録
生徒指導論 生徒指導の研究	時間割表で（再）と表示しているクラスを履修	自分で登録
保健体育科学習指導論	時間割表で（再）と表示しているクラスを履修	自分で登録
スポーツ医学	担当教員の変更は不可	自分で登録
臨床スポーツ医学 A	自分の所属しているコースの時間割で履修	自分で登録
臨床スポーツ医学 B	自分の所属しているコースの時間割で履修	自分で登録

8 履修上の注意

(1) 前提科目

授業を受講するときには、前学年までに一定の科目(前提科目)の単位を修得していることが必要となる科目や、履修していないことが条件で履修登録ができる科目があります。4年間の履修計画を立てるとともに、試験等で単位を落とさないようしっかり学習してください。

科目	前提科目	備考
障害者スポーツ	障害者スポーツ概論	
テニスⅡ サッカーⅡ バレーボールⅡ バスケットボールⅡ ハンドボールⅡ ラグビーⅡ 陸上競技Ⅱ 器械運動Ⅱ 水泳Ⅱ 柔道Ⅱ 剣道Ⅱ レクリエーションⅡ	テニスⅠ サッカーⅠ バレーボールⅠ バスケットボールⅠ ハンドボールⅠ ラグビーⅠ 陸上競技Ⅰ 器械運動Ⅰ 水泳Ⅰ 柔道ⅠA又は柔道ⅠB 剣道ⅠA又は剣道ⅠB レクリエーションⅠ	3年次までに前提科目を履修した者のみ 選択可能。 ※担当教員が認めた場合は前提科目を履修していなくても可
※2018年度以前入学生 教職柔道 教職剣道 教職ダンス(男子)	柔道ⅠA、柔道ⅠB 剣道ⅠA、剣道ⅠB ダンスⅡ	教職を希望の者のうち前提科目を履修していない者のみ選択可能。 例：柔道ⅠA、柔道ⅠBの履修者は教職柔道を履修できない。
※2019年度以降入学生 保健体育科学習指導論	保健体育科教育法A 保健体育科教育法B	
※2019年度以降入学生 介護技術講義	特別支援教育概論	
教育実習Ⅰ	教員志望が明確であり3年次終了までに下記条件を満たしている事。	
	専門基礎科目	・講義科目27単位のうち20単位以上 ・実技科目14単位のうち10単位以上
	教職に関する専門科目 及び 関連科目の選択講義科目	※2018年度以前入学生 「道德教育の理論と実践」を除く22単位のうち、「保健体育科教育法A」「保健体育科教育法B」「保健体育科学習指導論」を含む18単位以上修得している。 ※2019年度以降入学生 「道德教育の理論と実践」を除く28単位のうち、「教師論」「保健体育科学習指導論」を含む22単位以上修得している。
	「学習点検シート」を毎年提出していること。	

(2) 履修において注意の必要な科目

◆コーチ教育コース

科目	注意事項
スポーツ技術・戦術論	ア) 個人種目 イ) 球技種目 ウ) 対人種目 } いずれか1つを選択
トレーナー実習	<u>応用科目の必修</u> になっているので、 <u>関連科目のトレーナー実習を履修登録しないこと</u>
トレーニング計画	<u>応用科目、関連科目</u> 両方にある科目です。 同一内容ですので <u>重複履修しないこと</u>

◆体育科教育コース (2018年度以前入学生)

科目	注意事項
柔道 I B	2年次に剣道 I A を修得した者が履修すること
剣道 I B	2年次に柔道 I A を修得した者が履修すること

※これは男子のみの注意事項です。女子はどちらか1科目を選択してください。

◆スポーツマネジメントコース

◆アスレティックトレーニングコース

科目	注意事項
栄養管理	関連科目の「栄養管理」を履修登録することができます。

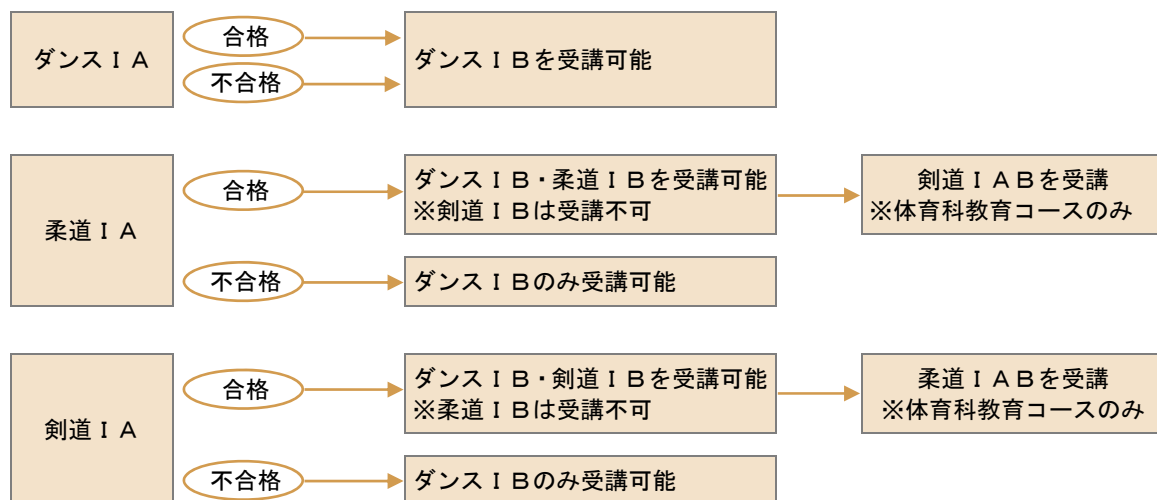
◆健康スポーツコース

科目	注意事項
栄養管理	<u>応用科目の必修</u> になっていますので、 <u>関連科目の「栄養管理」の履修登録をしないでください。</u>

◆両学科共通

科目	注意事項
アスレティックリハビリテーション基礎	応用科目、関連科目両方にある科目です。 アスレティックトレーニングコースは応用科目の「アスレティックリハビリテーション基礎」(必修)を履修登録してください。 その他のコースは、関連科目の「アスレティックリハビリテーション基礎」を履修登録することができます。
レジャー・レクリエーション概論	(健康・スポーツマネジメント学科) 発展科目の「レジャー・レクリエーション概論」(必修)を履修登録してください。 (スポーツ教育学科) 関連科目の「レジャー・レクリエーション概論」を履修登録することができます。
レクリエーションⅡ	(健康・スポーツマネジメント学科) 発展科目の「レクリエーションⅡ」(必修)を履修登録してください。 (スポーツ教育学科) 関連科目の「レクリエーションⅡ」を履修申込してください。
海外語学研修	実際に受講した <u>翌年度の履修登録</u> となりますので、1～3年が受講の対象となります。 例：1年生の3月に受講 ⇒ 2年生で履修登録

(3) 2019年度入学生 専門基礎科目選択必修実技科目フローチャート



<注意事項>

- 柔道 I B…………柔道 I Aが前提科目 ※担当教員が認めた場合は前提科目を履修していなくても可
- 剣道 I B…………剣道 I Aが前提科目 ※担当教員が認めた場合は前提科目を履修していなくても可

(4) 同一科目の履修制限

1～3年生においては、同一科目を前期・後期同時に履修登録することはできません。4年生においては、前期不合格となった科目は、一部科目を除き後期に履修登録することができますので、学部教務担当まで相談にしてください。

(5) 履修制限について

1年間の履修単位数の上限は48単位以内ですので注意してください。
 ただし、2018年度以前の編入学生については履修制限を行いません。
 ※「教職に関する専門科目」「資格関連科目」「自由科目」及び「卒業論文」は履修制限に含まれません。

(6) 履修人数制限科目について

科目特性により履修人数に制限を設けている科目がありますので、シラバスにて確認するようにしてください。また、教養科目や実技科目等でも履修人数に制限を設けることがありますので、掲示板等で確認するようにしてください。

(7) 2時間連続の講義は次のとおりです。(履修登録は1時間登録すると、自動的に2時間登録となります。)

- ・インターンシップA (体育科教育コース)
- ・運動プログラム作成法 (健康スポーツコース)
- ・体力科学実験実習 (アスレティックトレーニングコース)
- ・スポーツ心理学実験実習 (スポーツ心理・カウンセリングコース)

(8) 「スポーツ演習」(関連科目) について

「スポーツ演習」は、剣道とバスケットボールがあり、いずれも受講制限があるため注意してください。

(9) 健康スポーツコースの「運動プログラム作成法」を履修した場合は、資格関連科目の「インターンシップA」「健康運動指導演習」とセットとなるため、両方履修してください。「インターンシップB」は単独で履修できます。

(10) 専門基礎科目 選択必修実習科目について

実習科目、日程、費用等については次のとおりです。費用及び募集定員については2018年度実績となります。

なお、実習科目を2つ以上履修しても、卒業単位としては1単位しか認められません。

実習科目	単位	配当年次	日程	費用	募集定員
スキー実習	1	1年次	2月11日～15日	65,000円 (レンタル代別)	230名
キャンプ実習A	1	2年次	8月26日～30日	30,000円	120名
海洋スポーツキャンプ実習	1	3年次	9月9日～13日	46,000円	120名
臨海実習	1	3年次	7月1日～5日	約65,000円	60名
ゴルフ実習	1	3年次	3月9日～13日	約63,500円	30名
キャンプ実習B	1	4年次		未定	
野外活動基礎実習	1	4年次		未定	

※日程等に変更がある場合は掲示にて周知します。

(11) その他の学外実習科目

実習科目、日程、費用等についてはつぎのとおりです。費用については2018年度実績になりますので、実習時には日程、費用などに変更が生じる場合がありますが参考にしてください。

※学内での実習については各担当教員の指示に従ってください。

実習科目	配当年次	日程	費用	募集定員
コーチング実習 ※コーチ教育コース必修	3年次	3、4年次	約7,000円	—
インターンシップA 宿泊研修(インターンシップ前の研修) ※体育科教育コース必修(2018年度は宿泊なし)	3年次	前期 2年次2月初旬	約12,000円	90名
インターンシップB ※スポーツ心理・カウンセリングコース選択必修	3年次	年度内	約12,000円	希望者
インターンシップB ※スポーツマネジメントコース必修	3年次	年度内	約12,000円	—
インターンシップA ※アスレティックトレーニングコース選択必修	3年次	年度内	約8,000円	希望者
インターンシップA(運動プログラム作成法及び健康運動指導演習とセット) ※健康スポーツコース選択必修	3年次	年度内	約12,000円	希望者
インターンシップB ※健康スポーツコース選択必修	3年次	年度内	約12,000円	希望者

(12) 「英語演習」の時間外学習について

「英語演習」を履修するにあたっては、授業とは別に時間外学習として情報処理実習室での自習が必要となります。つぎの表で自分のクラスの時間外学習時間を確認して、情報処理実習室を利用するようにしてください。(前・後期を間違わないよう注意してください)

時間外学習は履修登録の必要はありません。

クラス	期間	「英語演習」時間外学習			「英語演習」授業	
		曜日	時限	情報処理実習室	曜日	時限
A	前期	月曜	4時限	A	金曜	2時限
B	前期	木曜	1時限	B	金曜	2時限
C	前期	水曜	1時限	B	金曜	1時限
D	前期	火曜	1時限	B	金曜	3時限
E	前期	火曜	1時限	A	金曜	3時限
F	後期	火曜	2時限	B	金曜	1時限
G	後期	火曜	1時限	A	金曜	1時限
I	後期	水曜	1時限	A	金曜	3時限
J	前期	水曜	4時限	A	金曜	1時限
K	後期	水曜	1時限	B	金曜	3時限
L	後期	水曜	4時限	A	金曜	2時限
M	後期	水曜	4時限	B	金曜	2時限

授業で時間外学習の説明があるので、説明を受けてから学習してください。

第1回ガイダンス、第2回授業開始の後から時間外学習が始まります。

(13) 不開講科目について(2018年度までの入学生が対象)

2019年度の不開講科目についてはつぎの一覧のとおりです。

科目区分	科目名	対象
専門基礎科目	セイフティプログラム実習	全コース
応用科目	セイフティプログラム論A	スポーツ心理・カウンセリングコース
関連科目	セイフティプログラム論B	全コース
関連科目	スポーツ統計学	全コース

9 GPAの対象科目

卒業要件科目のみをGPAの対象とします。

(「教職に関する専門科目」、「資格関連科目」、「自由科目」は除きます。)

ただし、次の科目はGPA対象外科目です。

- 「日本語技法」
- 「統計基礎」
- 「統計実習Ⅰ」「統計実習Ⅱ」
- 「日本語技法演習(基礎)」
- 「スポーツ教育学演習Ⅰ」「スポーツ教育学演習Ⅱ」
- 「健康・スポーツマネジメント学演習Ⅰ」「健康・スポーツマネジメント学演習Ⅱ」

10 授業受講の注意

体育実技受講に関する留意事項

体育実技科目においては、各種運動の技術、知識及び指導法の習得を目的としています。また実技への参加態度、出席状況を重視します。

授業時間内の活動だけでなく、実技ノートを作成し、理論の学習に積極的に取り組み、意欲的な実技参加態度を期待しています。

次の事項に十分留意し、受講してください。

- (1) 単位修得に必要な出席率は各学期の実施授業回数80%以上とする。
各学期(前期・後期)で80%を下回った時、直ちに授業担当教員のもとに出向き、指示を受ける。
- (2) 授業を欠席する場合、欠席理由によっては必要な欠席の手続きをとること。
- (3) 遅刻・早退・見学は次のとおり取り扱う。
遅刻・・・授業開始後20分までを遅刻として取扱い、0.5の出席とする。それ以降の受講は認めない。
早退・・・0.5の出席とする。
見学・・・0.5の出席とする。(長期の場合は診断書を提出すること)
- (4) 授業時は指定の服装を必ず着用する。他の服装の者は、授業担当教員の許可を得なければならぬ。

11 試験について

- (1) 再試験
定期試験等において、50～59点で担当教員が再試験と評価した時には再試験を受けることができます。再試験の日程は、各学期の成績発表時に掲示しますので再試験を受けようとする者は、定められた日までに教学部教務担当にて所定の様式により申し出てください。再試験の評価で合格の場合は60点「D」となります。
なお、1科目につき1,000円の受験料が必要となります。
- (2) 追試験
定期試験及び授業内試験を受験できなかった場合、次の各号に該当する場合は教授会の承認を得たうえで追試験を受けることができます。
 - ①教授会が許可した研修会及び競技会等にレギュラーメンバー及び役員として出場する者
 - ②2親等以内の親族の死亡(父母、祖父母、兄弟姉妹)
 - ③病気・ケガにより受験できなかった者
 - ④その他やむを得ない事由により受験できなかった者

追試験を受けようとする者は、事前に次の書類を添えた「追試験願」を教学部教務担当に提出してください。ただし、やむを得ない時は試験終了後、10日以内に教学部教務担当に提出してください。

 - ①の場合は部長又は監督の承認印のあるもの
 - ②の場合は担任教員の事由承認印のあるもの
 - ③の場合は医師の診断書又は担任教員の事由承認印のあるもの
 - ④の場合は担任教員の事由承認印のあるもの
- (3) 定期試験受験上の注意
学部共通 16ページ「6 試験について」を確認してください。
- (4) 出席の重要性
本学では、授業の出席状況を重視しています。出席状況の悪い学生は、試験を受けることができない場合や、受験しても単位を与えられない場合がありますので注意してください。その基準は、全授業日数の20%を超えて欠席した場合です。

12 選択科目における受講者人数調整について

選択科目（一般教育科目、関連科目）において、クラスの受講希望者数が所定の人数以上となった場合、受講人数の調整を実施する場合がありますので、以下の点に注意してください。なお、別途担当教員から指示がある場合はそれに従ってください。

【前期・通年科目】

- (1) 調整を実施する場合、調整対象となるのは初回授業出席者です。欠席者は対象となりません。
- (2) 欠席する場合は、事前に欠席届を担当教員もしくは教学部教務担当へ提出することにより調整対象となります。
- (3) 調整により受講許可となった者の一覧を掲示板にて発表しますので、受講許可とならなかった者はただちに教学部教務担当に申し出て、履修登録を修正し、必要であれば別科目クラスを履修登録してください。
- (4) 受講許可とならなかった者の登録が残っている場合は、登録期間終了後に教学部教務担当で取り消します。
- (5) 履修登録期間中は、掲示板で発表されている調整実施クラスをこまめに確認するようにしてください。
- (6) 受講許可とならなかったことが登録期間終了後に判明した者は、登録期間終了後 1 週間以内に教学部教務担当で履修登録修正（別科目クラスの追加含む）の手続きを行うことができます。

【後期科目】

- (1) 前期履修登録期間中に後期科目で調整を実施したクラスは、登録期間終了後に受講許可者を掲示板で発表しますので、受講許可とならなかった者は上記（6）と同様、登録期間終了後 1 週間以内に教学部教務担当で履修登録修正（別科目クラスの追加含む）の手続きを行ってください。
- (2) 後期科目で定員に満たない科目は、後期履修取消・追加登録期間の前に追加募集を実施します。Campusmate-J のメールに履修希望調査の申込みフォームが届くので、案内に従い申込みしてください。申込み後、受講許可となった場合の履修登録は、教学部教務担当で行います。

※教学部教務担当で履修登録（追加・変更・取消）した科目について、その内容が反映されているかをポータルサイトで必ず確認してください。

もし、反映されていない場合は、早急に教学部教務担当まで確認に来るようにしてください。